



ポケットのフラップを付け替えられるユニホーム

フラップ付け替え式に

神馬本店 接客業向けユニホーム

コスト抑制、ロスも削減

レディースユニホーム製造の神馬本店(倉敷市児島味野)は、ポケットのフラップ(ふた)を付け替えられる接客業向けのユニホームを発売した。業務や

階級に応じてデザイン異なるフラップを付けることで、複数のユニホームを発売するよりコストが抑えられるのが特徴。同社も製品ロスが生じやすい少量多品種の生産を避けられる。ボタンが縫い付けたあるフラップを、ポケットの内側にあるボタンホールにはめて装着する仕組み。昨秋に特

許を出願した。

ホテルのドアマンやフロントなど、接客業では業務に応じて別々のユニホームを用意するケースが少なくない。フラップを付け替え式にすることで、ベースのユニホームを統一しつつ、利用客が従業員の職種を見分けられるようになる。

素材にはペットボトルの再生原料を使った生地を採用した。ジャケット(3万580円から)、ワンピース(3万1900円)、ベスト(1万9250円)があり、フラップは最大11種類から選べる。ホテルや病院、結婚式場などでの利用を想定している。

神馬真一郎社長は

「SDGs(持続可能な開発目標)の観点から、まずは廃棄を出さないという発想で企画した」と話している。(山本友志)